

愛全病院 併設

特別養護老人ホーム サン・グレイス 新築移転

当施設は昭和50年の開設以来、多くの入居者様とご家族様のご理解のもと、また職員に支えられながらお蔭様で約38年の運営をいたしてまいりました。年々建物の老朽化が進行する中、東日本大震災による被害を目の当たりにし、将来に亘る地域や入居者様の安全性と快適性を早急に確保することが急務と捉え、施設開設から40年を迎える節目の年に移転・増床新築することといたしました。

新サン・グレイスは入所150名と短期入所10名の定員合計160名(ユニット型では札幌最大)に増床すると同時に、デイサービ

スを併設して生まれ変わります。新施設では『ご本人らしい住まい』『楽しい』『嬉しい』『自立』をこれまで以上に意識したサービスを提供させていただきますので、今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



医療法人愛全会 愛全病院

〒005-0813 札幌市南区川沿13条2丁目1番38号
電話(011) 571-5670(代)



愛全病院 理念

私たちは、人間愛と責任感に基づき、患者さまを中心とした
生命を大切にする心 思いやりを大切にする心 学ぶことを大切にする心
をもって地域の安心づくりに努めます。

1. 人間愛と責任感に基づく、優しい医療に努めます。
2. 患者さまへの十分な説明と同意、並びに患者さまの選択の意志の尊重に努めます。
3. 患者さまのプライバシーを尊重し、また、個人情報の保護と診療情報の提供に十分な配慮をいたします。
4. 良質な医療サービスを提供して、地域の皆さまの安心づくりに貢献します。
5. 入院・通院から在宅まで「継続的な」医療とリハビリテーションの提供に努めます。
6. 常に患者さまの声に耳を傾けて、暖かみのある療養環境づくりに努めます。
7. 良質な医療の提供のため、たゆまざる努力と研鑽に努めます。

患者さまの権利

1. 患者さまは、常に一人の人間として、その人格・価値観が尊重され、医療提供者との相互関係のもとで医療を受ける権利があります。
2. 患者さまは、社会的地位・年齢・性別・信条・疾病の種類などにかかわらず、平等に適切な医療を受ける権利があります。
3. 患者さまは、自分が受ける治療や検査の効果や危険性、他の治療方法の有無などについて十分な説明と情報提供を受ける権利があります。
4. 患者さまは、医療の内容を十分に理解し納得した上で、治療方法などを自らの意志で選択する権利があります。
5. 患者さまは、医療上得られた個人の情報やプライバシーが守られる権利があります。
6. 患者さまは、病気やその療養方法および保健・予防等について教育を受ける権利があります。
7. 良質・安全な医療を実践するためには、患者さまと医療提供者との間のパートナーとしての人的信頼関係と双方のコミュニケーションがきわめて重要になります。

優

ゆう



2012、新しい風・・・

2013、その思いをつなぐ

ガーベラの花言葉
《赤》「常に進進」
《ピンク》「崇高な愛」
《オレンジ》「我慢強さ」
《白》「希望」
《黄》「親しみやすさ」

『信頼いただける病院として』

愛全病院は、より安心・安全な医療の提供を目的に、2002年から、中立・公平な立場の(財)日本医療機能評価機構が実施する「病院機能評価」を受けております。

2012年はその再評価の年にあたり、事前の書面審査に続く7名のサーベイヤー(訪問調査者)による3日間の訪問審査により、「病院組織の運営と地域における役割」、「患者さまの権利と医療の質および安全の確保」、「療養環境と患者さまサービス」などの大きく7つの領域に分類された255項目の審査を受け、その認定基準をクリアし、6月に version6.0 の認定となりました。

私たちは今後もより良い病院づくりに向けた質の向上・改善に取り組んでまいります。



認定第MB44-3号
審査体制区分: 4 (ver6.0)

すべての人に、愛を
愛全会
http://www.aizenkai.or.jp

Vol. 10

平成25年3月1日発行

〒005-0813 札幌市南区川沿13条2丁目1番38号
医療法人愛全会 総括本部 経営企画部
TEL(011) 572-8000/FAX(011)571-4430

愛全病院は、1969年、札幌市南区の川沿地区に高齢者医療の先駆けとして開設し、「人間愛と責任感に基づき、患者さまを中心とした『生命を大切に作る心・思いやりを大切に作る心・学ぶことを大切に作る心』をもって地域の安心づくりに努める」との理念のもと、地域の慢性期医療の中核的病院として、さらには急性期病院における治療を終えた患者さまにリハビリテーションなどの回復期医療を提供し、在宅復帰を支援する役割を担う病院として、地域医療に貢献してまいりました。

超高齢社会の進展に伴い医療・介護への需要が高まる中で、質が高く効率的な医療を実現するため、医療と介護の機能分化や、急性期、亜急性期、慢性期等の病院・病床の機能分化が進んでおります。こうした状況の中で、慢性期病院においても、「病気を治して、地域に帰す」という病院本来の機能を果たすことが重視されるようになり、診療とケアの質の向上が求められるようになってまいりました。愛全病院はこうした時代の要請に応えるため、

- ①多職種の協働によるチーム医療の実践
- ②看護・介護職員の質の向上

に努め、慢性期医療における診療とケアの質の向上を図ってまいります。

高齢者の増加や慢性疾患の増加などにより慢性期医療を必要とする患者さまの増加傾向に拍車がかかり、慢性期医療の重要性・必要性が今後一層高まることが予測されております。社会構造の変化に応えるため、愛全病院は、地域に根ざし、安心・安全で良質な慢性期医療を提供すべく、日々努力してまいりますので、ご理解・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



医療法人愛全会 理事長

赤塚知以

求められる 連携・医療ニーズに対応して

障害者施設等一般病棟	186床(4病棟)
回復期リハビリテーション病棟	55床(1病棟)
医療療養病棟	118床(2病棟)
介護療養病棟	250床(5病棟)

平成25年3月1日現在 全 609床(12病棟)

平成24年は、障害者施設等一般病棟への転換、回復期リハビリテーション病棟の基準をⅢからⅡへ在宅復帰支援を強化するとともに、医療療養病棟の増床を行いました。

愛全会グループ・教育元年



高齢者の看護・介護のパイオニアとして、愛全会は歩んでおります。私自身もこの愛全会で、多くの体験や学びを得てまいりました。人として思いやりのある心のもったケアの提供や専門職としての知識や技術の習得には、日々の実践も大事ではありますが、やはり「教育」が重要だと思います。

医療・福祉は、その仕事を通じ自己の人生観を確立していると教わったことがあります。高齢者の看護・介護はその方から学ぶことばかりですが、私たちは専門職として根拠のある、より良いケアを実践することを目標にしていくことが重要だと思います。多くの研究の結果、エビデンスが確立されるようになりました。このことは、ケアの実践の上で当然活かされることとなります。学ぶことで、知識の習得はもちろんですが、ケア実践の自信にもつながると思います。

これまでもケアに関わることの教育は行ってまいりましたが、更なるレベルアップを目指し、現在教育計画を再考しています。

平成24年度は、理事長から「愛全会のこころと歴史」を、石垣靖子先生から「臨床倫理」を学ぶことから始まりました。平成25年度は「やさしさと笑顔で患者さまの生活を支える専門職の育成をめざす」ことを教育目標に掲げました。愛全会の理念に基づいた「心のもった思いやりのある看護・介護の提供」のために、専門職として学び続け、より良いケアの実践を目指し、信頼・安心していただけるよう今後も努力してまいります。

(副看護部長 / 医療安全管理者 星 昌枝 記)



『基本理念は 職員の愛社精神と信頼に よって具現化される』

医療法人愛全会 顧問 石垣靖子
(北海道医療大学 客員教授)

愛全会の教育・研修と、主に看護管理に関する相談に携わって半年が過ぎました。どの研修にも職員の方々は熱心に参加してくれています。特に全職員対象の倫理研修には、回を重ねるごとに参加者が増え、驚きと同時に希望を感じています。看護部の人たちも前向きで生き生きと仕事をしており、この人たちが専門職として主体的に考え、行動しその結果に責任を持つという積極性と、それを是とする組織の支援が今後も継続していくことと期待しています。

「人を愛し、地域を愛する」という基本理念は、職員の愛社精神と信頼によって具現化されるものだからです。

愛全会グループ・教育元年



高齢者の看護・介護のパイオニアとして、愛全会は歩んでおります。私自身もこの愛全会で、多くの体験や学びを得てまいりました。人として思いやりのある心のこもったケアの提供や専門職としての知識や技術の習得には、日々の実践も大事ではありますが、やはり「教育」が重要だと思います。

医療・福祉は、その仕事を通じ自己の人生観を確立していると教わったことがあります。高齢者の看護・介護はその方から学ぶことばかりですが、私たちは専門職として根柢のある、より良いケアを実践することを目標にしていくことが重要だと思います。多くの研究の結果、エビデンスが確立されるようになりました。このことは、ケアの実践の上で当然活かされることとなります。

学ぶことで、知識の習得はもちろんですが、ケア実践の自信にもつながると思います。

これまでケアに関わることの教育は行ってまいりましたが、更なるレベルアップを目指し、現在教育計画を再考しています。

平成24年度は、理事長から「愛全会のここと歴史」を、石垣靖子先生から「臨床倫理」を学ぶことから始まりました。平成25年度は「やさしさと笑顔で患者さまの生活を支える専門職の育成をめざす」ことを教育目標に掲げました。愛全会の理念に基づいた「心のこもった思いやりのある看護・介護の提供」のために、専門職として学び続け、より良いケアの実践を目指し、信頼・安心していただけるよう今後も努力してまいります。

(副看護部長 / 医療安全管理者 星 昌枝 記)



『基本理念は
職員の愛社精神と信頼に
よって具現化される』

医療法人愛全会 顧問 石垣 靖子
(北海道医療大学 客員教授)

愛全会の教育・研修と、主に看護管理に関する相談に携わって半年が過ぎました。どの研修にも職員の方々は熱心に参加してくれています。特に全職員対象の倫理研修には、回を重ねるごとに参加者が増え、驚きと同時に希望を感じています。看護部の人たちも前向きで生き活きと仕事をしており、この人たちが専門職として主体的に考え、行動しその結果に責任を持つという積極性と、それを是とする組織の支援が今後も継続していくことと期待しています。

「人を愛し、地域を愛する」という基本理念は、職員の愛社精神と信頼によって具現化されるものだからです。

愛全会グループの
医療・介護サービスが
安心サポート

An Belami



介護福祉士の資格を持つ
パトラー(相談員)が、日常生活
での相談や病院受診の手配
などのサービスを提供。



サービス付き
高齢者向け住宅
アン・ベルアミー

【住まい】の新しい選択

入居者さまお一人おひとりのニーズに合わせたサービスをご提供しています。



在宅サービスを活用

愛全会の訪問診療、訪問看護
訪問介護サービスを利用して
健康管理も万全。
愛全会のデイサービスや
デイケアを利用し、趣味活動や
仲間とおしゃべりを楽しめる。



主治医は愛全病院

慢性疾患の持病がある方は、
愛全病院にて定期フォロー。
通院には、
愛全会の無料シャトルバス
を利用すると便利。



四季折々の旬ものから
さまざまな
食事制限にも対応



食事は、愛全会のこだわりのひとつ。
厨房には、栄養士だけでなく
調理師(シェフ)も常勤し、
栄養管理に加え、味・盛り付け
にも最善の気を配っている。
また、各疾病別の食事制限にも
対応している。

異なる【喜び】が
同時に満たされる

夫は食事制限、妻はカロリーや糖分
に配慮した食事で健康管理。
夫は自由に外出し、妻はデイケアで
友人と趣味活動を楽しんでいる。
アン・ベルアミーに住んでいるから
心も身体も満たされる。

24時間スタッフ
常駐だから安心

普段は近隣の連携医療機関に通院し
持病をコントロール。
自室にて体調が急変し緊急コール。
主治医・家族に連絡すると同時に
救急車を要請し救急搬送。
迅速な対応により大事にいらなかった。